

「復活！江の川・手づくりいかだ川下りレース」に参加しました。

平成24年8月5日（日）10：00～

晴天のあおぞらの下、レース開催！



トラシップ1号です。



イカだ～号です。



泥沼号です。

アクシデントこそありましたが3チームとも無事ゴール！他チームのレベルがとても高く、結果は満足できるものではなかったですが、チーム一願となってがんばる姿はとてもすがすがしく感動しました。

出場者のみなさん お疲れ様でした！

RCC ニュースで放送されました。



平成24年8月5日(日)夕方に「復活！江の川・手づくりいかだ川下りレース」の様子が紹介され、イカだ～号が映っていました。

8月10日の中国新聞に掲載されました。



⑤五右衛門風呂を載せ、白い煙を上げて進むいかだ。風呂釜は本物。いかだ全体の重さは240kg  
⑥こいでもこいでも進まぬいかだ。転覆しそうで同乗の女性はバランス最優先。岸からは「浸水しよるでー」の声

## 13年ぶり いかだレース熱く 吉田の可愛川

安芸高田市吉田町の可愛川（江の川）で5日あった手作りいかだレース。13年ぶりに復活し、市内外から45チームが参加した。レースの様様を写真で振り返った。

とくろを巻いた大蛇や五右衛門風呂…。工夫を凝らしたいかだが次々登場し、盛んな声援を浴びた。中には、今にも沈みそそないかだもあり、観客の笑いを誘った。

水車が回るいかだで仲間と参加した広島市安佐北区の会社員大田真由さん(41)は「来年はもっと面白さがパワーアップしたいかだで出場したい」と意気込んでいた。

(椎木一郎)



川岸に詰めかけた観客。いかだが前を通るたびに大声援。カメラを向ける人も